



つちおと

2/13(金)

～ 地域復興支援マッチング 結の場 (気仙沼市) を開催! ～

- 2月13日(金)、気仙沼市において、被災地域の企業と大手企業等との復興支援マッチング「結の場」を開催いたしました。

復興庁では、被災地域の企業が抱える多様な経営課題の解決を図るため、大手企業等が、技術、情報、販路などを幅広く提供する支援事業の形成の場として、地域復興支援マッチング「結の場」(ゆいのば)を実施しています。今回、第10回目となる結の場を気仙沼市で開催いたしましたのでお知らせします。

被災地からは水産加工企業9社、支援提案企業等からは26社が参加しました。会場では、被災地企業の課題解決のための意見出しや将来に向けての経営改善の考え方などについて話合われました。支援提案企業は東京方面から朝早く出発し、日帰りで参加したところも多く、支援に対する思いを感じました。

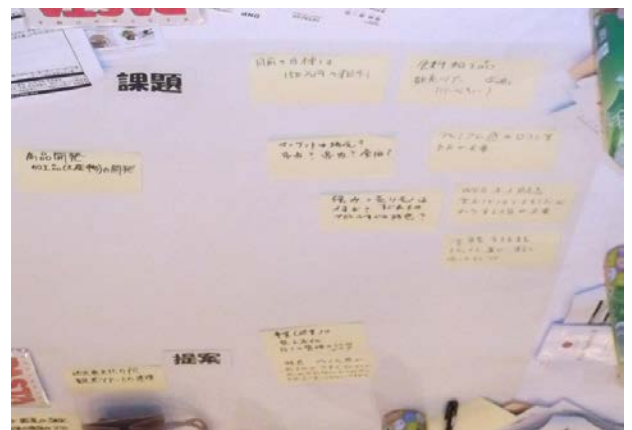
今後、参加した企業による連携事業が成立するよう支援を行ってまいります。

参加企業等はHPに掲載しております。(以下URL)

http://www.reconstruction.go.jp/topics/main-cat4/sub-cat4-1/yuinoba_10.html



意見交換する参加者



課題や提案を付せんを使って整理していく

- ◆もう早いもので3月に入りました。春の訪れも手伝ってか、当支所管内もあちらこちらで団地の整備をはじめとした復興事業の日々着実な進捗を感じてきています。季節の変化などにより、体調不良や時として眠れぬ夜が訪れることもあります。みなさま、お体にお気を付けください。

- ◆2月下旬、当支所管内についても提出された復興交付金事業計画に対し第11回目の交付可能額の通知をしました。(市町の皆様、お疲れ様でした。)

被災地の復興に向けた復興交付金事業計画の第12回目の受付時期については、各市町の作業状況等を勘案しながら検討しますが、引き続き気仙沼支所も計画策定段階から応援しますので宜しくお願いします。

2/15^日

～ 鹿折地区で公園づくりワークショップを開催! ～

気仙沼市の鹿折（ししおり）地区では、土地区画整理事業が順調に進み、地区内の公園も整備に向けて検討が必要な時期になっています。そこで、2月15日に鹿折まちづくり協議会主催の「鹿折の公園づくりワークショップ」が開催されました。地元の中学生、地域の一般住民や行政側から参加があり、総勢52名での開催となりました。どんな公園にしたいか、グループワークでアイデアを出し合い、最後にそれぞれの公園案を発表。デートするための「青春の小道」、漁船のオブジェ、冬になったらそりで滑る丘、防犯カメラ設置など、様々な意見があり、盛り上がりしました。途中から地元出身の小野寺五典議員もサプライズで参加される場面もありました。

次回は、これらアイデアが盛り込まれた公園案について行政側から提示があります。どんな公園になるのか楽しみです。



グループでは大人と子供が対話



紙を使った模型をつくる

2/27^金

～ 第11回復興交付金交付可能額通知! ～

1月下旬に被災自治体から提出された復興交付金事業計画に対して、2月27日に交付可能額の通知を行いました。8県に対して通知を行い、その合計の事業費は約2,037億円、うち気仙沼市については、都市再生区画整理事業、災害公営住宅整備事業等に約150億円、南三陸町については、津波復興拠点整備事業、農山漁村地域復興基盤総合整備事業、水産業共同利用施設復興整備事業等に約73億円となりました。

これまで、平成23年度から11回にわたって復興交付金の交付可能額の通知を行っているところ、気仙沼市は合計事業費で約2,984億円、南三陸町については合計事業費で約1,195億円を配分しています。

また、第12回の事業計画の受付時期は、市町村等の作業状況を踏まえ検討することとしています。引き続き、気仙沼支所としても、気仙沼市と南三陸町の事業計画の策定や事業の実施に協力して参ります。



今後建築が進む気仙沼市災害公営住宅整備事業（只越地区）



着々と造成工事が進む南三陸町の志津川東地区西工区

～ 平成 26 年度春期 復興支援インターン (南三陸町) の開催! ～



報告会に向けてグループに分かれて話し合い

前年度からつづく「復興支援インターン」。今年度の春期開催が南三陸町で始まりました。2月15日（日）～21日（土）までの一週間、全国から集まった大学生たちが南三陸町の企業で職業体験（インターン）をしました。

今回は、地元の水産加工関連会社5社が、計17名を受け入れ。学生たちは、それぞれの現場でめかぶなど水産加工品の包装・梱包作業などに携わり、また多くの従業員さんたちと触れ合ったようです。

最終日の報告会では、参加した学生より、それぞれが見た地域の課題と、それを改善していくためのアクションプランの発表がありました。商店街からも人が減り、活気不足に悩む南三陸町。風化を防止するには、人を呼び込むためにはどうすればいいか、各大学がアイデアを発表。例えば、「宮城×新潟 街コン in 南三陸」、受け入れ企業の主力商品のアピールのためのポスター制作とポスターコンテスト出品、PR動画の作成、「高校生チャレンジプロジェクト」と銘打った交流プログラムなど、様々なアイデアが発表されました。報告会に出席した企業や現地関係者らは、学生たちがここまで具体的なプランを考えたことに感心し、その実行力におおいに期待していました。被災地から持ち帰った貴重な体験を、今度はそれぞれの現場で情報発信し取り組みに移すことが期待されています。

今年度春期「復興支援インターン」は、南三陸町、亶理町・山元町、女川町、石巻市、気仙沼市で開催され、計24社が受け入れ、18大学から119名が参加します。最終クールは気仙沼、3月8日の週まで続きます。

「復興支援インターン」特設ページが開設されました：

http://www.reconstruction.go.jp/topics/main-cat1/sub-cat1-1/fukkoshien_intern/index.html



最終日の報告会の様子



集合写真

復興関連イベント

各地で開催される
復興イベントをご紹介します。

【3月11日】東日本大震災復興支援イベント（「つなげよう復興へ希望の光」実行委員会）

埼玉県ふじみ野市の市民団体とともに文京学院大学学生が協働して企画・運営。今年の注目プログラムは、「奇跡の一本松」モザイクアート、人間学部有志学生が風評被害や後継者不足に悩む福島県郡山市でぶどう作りを手伝い、収穫されたぶどうを使った東北復興支援ワイン「BGU Wine」の初披露、などです。

◇開催日 3月11日（水）14:30～19:30 ◇場所 東武東上線 上福岡駅西口前 ココネ広場（埼玉県ふじみ野市）

詳細はURLよりご確認ください。⇒ <http://digitalpr.jp/r/10617>

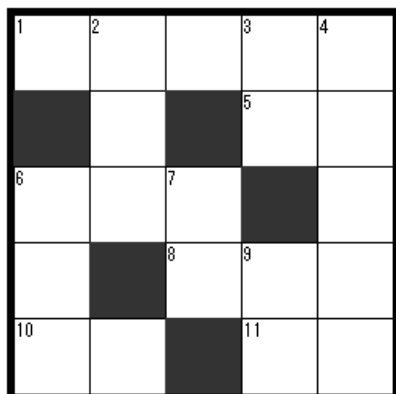
【3月21,22日】女川「まちびらき」（女川町）

東日本大震災で大きな被害を受けた女川町。町の中心部では、かさ上げ工事と新たな市街地の整備が進められています。町では、JR女川駅の開業を「まちびらき」と位置づけ、さまざまなイベントを開催します。

◇開催日時 3月21日（土・祝）JR石巻線全線再開・女川駅等開業セレモニー 10:30～ ◇場所 JR女川駅、周辺

◇開催日時 3月22日（日）女川温泉「ゆぽっぽ」開業 9:00～ 女川町復興祭 10:00～16:00 ◇場所 JR女川駅、周辺

クロスワードにチャレンジ！！



【タテ2】目上の人などに付き従っていくこと。または、その人。

【タテ3】絵をかくことを職業とする人。絵かき。

【タテ4】不用品や廃棄物を資源として再利用すること。資源再生。

【タテ6】まったくないこと。

【タテ7】動物が食べたり、声を出したりするところ。

【タテ9】時間の差。標準時の違い。時間をずらすこと。

【ヨコ1】潮の引いた浜に出て貝などをとって遊ぶこと。

【ヨコ5】雨や日光をよけるために使う道具。または、草や竹の葉で編んだ、かぶり物。

【ヨコ6】口数が少ないこと。

【ヨコ8】地球の南北両極を直線で結ぶ自転軸。

【ヨコ10】役に立たないさま。余分なさま。余計なさま。

【ヨコ11】人間に一番近く、顔・手足以外は毛でおおわれ、顔やしりの赤い動物。

【編集後記】

◆暖かいと感じる日が増えてきた今日この頃。起床時間も早まってきそうです。冬の運動不足の分、春は取り返したいと思います。

（前号のナンプレの回答）

8	1	5	3	7	9	6	4	2
2	4	6	1	5	8	7	3	9
9	3	7	2	6	4	1	5	8
3	7	4	9	8	5	2	6	1
1	6	9	7	3	2	4	8	5
5	2	8	4	1	6	3	9	7
7	5	2	8	4	3	9	1	6
4	8	1	6	9	7	5	2	3
6	9	3	5	2	1	8	7	4

気仙沼小学校の寒椿！



これまでに発行した「つちおと」は、復興庁ホームページで御覧いただくことができます。

- ①復興庁のホームページ
- ②宮城復興局
- ③気仙沼支所だより「つちおと」

「つちおと」発行元（お問い合わせ先）

復興庁 宮城復興局 気仙沼支所
電話 0226-23-5301
FAX 0226-23-5310

復興庁ホームページ
<http://www.reconstruction.go.jp/>